

簡易フェイスシールド 3D 造形試作とデータ無償提供について

2020年4月16日(木)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行拡大により、医療従事者を守るための個人防護具(PPE: Personal Protective Equipment)の不足が深刻化しています。

厚生労働省ではN95マスクの例外的な取扱い方法としてプラズマ滅菌器による再生方法を提示しました。防護衣としてのアイソレーションガウンが不足しているため、ゴミ袋を纏って働く医療従事者も現れ、大阪市長は雨カッパの提供を広く市民に求めました。

当社でも出来る事はないかと模索した中で、3Dプリンタを活用したフェイスシールドホルダーの造形を試みました。既に世界中で同様のデータが公開され、米国NIHではライブラリを設けて利用者が選びやすいようにしています。当社では、自社保有の3Dプリンタの性能を鑑み、造形時間や精度に適したデータを用意し造形を行いました。

NIHのライブラリにも似た製品はあると思いますが、半月状のカチューシャのような形状、外周側にフィルム等のシールドを、内周側は額が当たるように設計されています。

データは当社ウェブサイト公開し無償提供致します。3D造形品については、希望する医療機関様に評価用試作品として提供致します。1回に2個、製作費や送料は当社が負担します。配布数に上限は設けませんが造形できる数に限りがあるため、応募多数の場合は応援要請するなど手段を検討致します。

当社代表宛に多くの医療従事者様から悲痛な叫びや切望することなどが寄せられていますが、その多くが物資不足によるものですので、医工連携と災害対策を主力事業とする当社の強みを活かし、現場の課題解決に貢献できるよう努めて参ります。

記

- 標 題 : 簡易フェイスシールド 3D 造形試作とデータ無償提供
 方 法 : 造形用 3D データ制作および無償提供(配信)
 3D 造形物無償提供(応募のあった医療機関宛に郵送・製作費等は当社負担)
 問合先 : NES株式会社 お客様係 info@24med365.net

以上



フェイスシールドホルダー外観



フィルムを装着した状態

